

『花を訪ねて： レンゲツツジ』

湯ノ丸高原山行報告(2023年6月19日(月))

以前(4月)の「河村城址・洒水の滝」の帰りの反省会で、「レンゲツツジを見に行きたい」と話しをしたら、伊藤さんから甘利山などと共に「湯ノ丸高原」が提案された。この案は伊藤さんが以前から暖めていた計画で、地蔵峠迄の路線バスが「絶滅種」になってしまったために頓挫していたそうです。地蔵峠までタクシー利用となるので、池田さん、神田さんという二人の“晴れ女”のご参加を得て実現したのだ。総勢伊藤、池田、神田、陽田の4名。

東京駅 7:24 発の「あさま 603 号」で軽井沢に向った。軽井沢駅でホームに降りると、古くあの懐かしい軽井沢駅の木造の駅舎は健在だった。以前の「信越本線」だった路線が、今や「しなの鉄道」という完全な地方線になってしまった線に乗換えて滋野駅へ向かった。車輛は離縁の時の手切れ金で新設したのだろう新しい。滋野駅は無人で、古い駅舎は「滋野松葉タクシー会社」が借り受けているような感じだ。駅前には予約していたタクシーが待っていてくれた。伊藤さん、このタクシー予約には運転手の余裕がないのか、直ぐには“予約 OK”がもらえず些か手古摺ったとか。

約 20 分走って、10 時に地蔵峠(標高 1,732m)に到着した。辺りにはぼちぼちレンゲツツジの花が見られた。早速スキーリフトを利用して、10 時 20 分、標高約 1,830m の「ツツジ平」へ登る。地蔵峠からこの一帯は牛の放牧地になっていて、バラ線で囲われている。囲みの中に入ると、周り一面レンゲツツジの群落がある。約 60 万株と云われる群落は国の天然記念物に指定されているそうだ。リフト乗り場には「約 7 分咲き」とあったが、一面のレンゲツツジは、雲が全くない快晴の青空と相まって、まだ濃い橙色の蕾もあり素晴らしい景観である。「ツツジ平」の向うには「湯ノ丸山」(標高 2,101m)が青空の中に望める。

一通りレンゲツツジの花を堪能した後、湯ノ丸山へ向かう。稜線の角度を見ると結構急勾配だ。バラ線の柵を出て暫く歩くと小さな東屋に着いた。水を飲み小休止後出発、直ぐ 11 時に「鐘分岐」(標高 1,859m)に着く。ここから本格登山になる。小生はゆっくり登れる所まで行って、引き返し東屋で待つことにして、伊藤さん達お三方には先行してもらった。濃い緑色のカラマツや白樺、ダケカンバなど落葉広葉樹が茂る林の中を進む、始めは緩い土の道だったが、段々急になってしかも石がゴロゴロで歩きにくい。途中、イワカガミ、白山石楠花などを見かけた。小生は結局標高約 2,000m 位の地点から引き返した。

もう少しで「鐘分岐」という所で、ワッペンを付けた 2 グループ、約 50 名位の中高年の多い男女の団体が登って来た、この団体をやり過ごすのにはかなりの時間が掛かった。12 時 20 分に東屋に到着し、伊藤さん達の戻るのを待った。伊藤さん達は 12 時 50 分頃戻って来たが、お話では「鐘分岐」から頂上まで(距離約 800m)約 40 分、戻りは約 30 分だったよし。また、独立峰なので、頂上からは 360 度の展望が素晴らしかったそうです。東屋を 4 人で占領して休憩・昼食、風が吹き抜けて寒いくらいだ。すぐ目の前に「湯ノ丸高原」の看板があったので、記念の証拠写真を撮る。

13 時 25 分東屋から出発、折角だからと登山道ではなく、バラ線の中のレンゲツツジ群の中を歩くことにした。牛糞が落ちていたから、牛はここまで上がってきているのだが、レンゲツツジやノイバラを掻き分けての「藪漕ぎ」になってしまった。まあこれも一興。途中で一旦普通道に出て最初に柵から出た所から再度レンゲツツジの中に踏み込む。13 時 50 分、リフト乗り場に戻って来た。往復切符を買っていたので、下りのリフトからは向う側の西籠

ノ登山、湯ノ丸スキー場、高地トレーニング施設(400mトラック)、ホテル施設などが見下せた。

地蔵峠へ戻って直ぐタクシーを依頼して、14時40分に滋野駅へ向かう。うまい具合に15時26分の小諸行きに乗車できた。この列車、小諸駅で4分待ち合わせ後軽井沢行きに接続している。乗り換えた車輛は最新式の愛称「ろくもん」(上田の城主真田氏の馬印:六文銭だ)の観光列車輛で、普通車で使用するときには“サイドシート式”に、有料特別車として使用する場合には座席を回転して“2+2列のクロスシート”にできる。

車窓から向う側を見たら、黄緑色のディーゼルカー“キハ111”が発車していった。こちらはJR本家の小海線の列車だった。“小海線”から頭の中に「高原列車は行く」(岡本敦郎が1954年に歌った)が浮かんできた。16時3分に軽井沢に着き、10分の接続であさま624号に乗車した。座席を向かい合わせにして、諸々の話をしながら上野まで過ごした。最後は18時に新宿西口の「サイゼリア」に腰を落ち着けてじっくり反省会をした。

まず、『晴天を連れて参加』していただいた女性お二人に感謝。次いで議題は今後の山行計画がどうなるかで、8月前半までは決まっており、後半の「上高地散策」案だが宿が取れないので絶望的なこと、9月になるともう“紅葉狩り”などはどうするかだ。どうも女性陣の琴線に触れるような案が出てこない。それで女性陣としてはどうゆう希望があるのか、提案した計画は予定期日が合わないのか、それともその案が気に入らないのかなど、反応を示してほしいと要望した。などなど色々な話題が出た後、20時に店を出て流れ解散した。

以上 陽田



湯ノ丸山とレンゲツツジ群



レンゲツツジの大群落



レンゲツツジ



湯ノ丸山を背景に



湯ノ丸山山頂



「上信越高原国立公園：湯ノ丸高原」